

一般社団法人 日本医学物理学会
平成 24(2012)年度 第 4 回理事会 議事録

日時:平成 24(2012)年 6 月 16 日(土)12:00-16:45

場所:首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室 B

出席:遠藤・松本・新保・櫻井・荒木・小口・奥村・齋藤・榮・西尾・福田(理事)、
金井・福村(監事)、和田・蓑原・赤羽・福士・尾川・豊福(委員長・大会長)
鬼塚(認定機構)、岡本・乳井(総務委員)

欠席: 門前(理事)

議題:

1. 前回の議事録(案)の確認
2. 新入会員・退会者の承認
3. 代議員選挙・役員選挙のまとめ
4. 第 103 回大会開催報告
5. 第 104、105(、106、107 回)大会の準備状況について
6. 委員会の構成の承認
7. 委員会報告
8. 医学物理士認定機構報告
9. WC2012 研究成果報告奨励金選考結果について
10. 研究課題援助の決定について
11. その他

資料:議案書冊子(資料 1-10 で合本)

席上配布:資料 5-1(104 大会資料 7 点)、資料 5-2(105 大会資料 2 点)、資料 7-4(国際交流委員会資料 1 点)、資料 7-5(防護委員会資料 2 点)、資料 10-3(平成 22-23 年度研究課題援助報告書類)

議事

定刻に出席者の確認の後、会長より総務委員の紹介があり、総務委員が今後理事会にオブザーブ出席することが提案され、これを承認した。

引き続き遠藤会長が開会を宣言し議事に入った。

1. 前回議事録(案)の確認

資料 1-1 に基づき前期最終理事会(4月12日)の議事録案を通読・確認し、承認した。また総会議事録(4月14日 資料 1-2)・新理事会合議事録(4月15日 資料 1-3)も通読・確認し、現行版を承認した。

2. 新入会員・退会者の承認

資料 2 に基づき、庶務理事より4月1日ー5月31日の入退会・資格変更等が報告され、承認した。

現在の会員総数は1,975名との報告がなされた。

3. 代議員選挙・役員選挙のまとめ

資料 3 に基づき、会長より説明・提案があった。

このたびの選挙は、10月の法人設立を起点とせざるを得ず、非常に厳しいスケジュールであった。今後、この例に鑑み、標準とすべき日程(案)が示された。また、会長より下記の見解表明があった。

理事の連続再選制限(2期まで)については、当初は特定人に負担が偏ることを避けるために規定したが、学会の活動の連続性を鑑みるとやや短いので延長を検討した方が宜しいのではないかと提案があった(委員長任期についても同じ)。

当学会の構成(理工系・技術系)に鑑み、副会長2名制も検討の価値あり(ただし、これは定款改訂事項)。

本件につき審議の結果、正副会長・庶務理事・総務委員会で検討して11月開催の理事会までに案を諮り、来年2月の理事会までに成案をなして次回の提示総会上程を目標にすることとした。

8. 医学物理士認定機構報告(都合により項番繰り上げ)

資料 8 に基づき、認定機構庶務理事より同機構の活動現況が報告された。2011年度の更新認定について、周知不足のため現在も継続中であるとのコメントがあった。

また JBMP の定款改訂案(JASTRO の出資希望に対応するため)が示され、出資者である JSMP の理解が求められた。認定機構庶務理事より内容の説明を受けた。

議論の結果 JSMP としてはこれを了承した。本件に関連して JBMP の活動について意見があった。

コース認定に関しての指摘があった。

JBMP の活動に対する JSMP (医学物理士有資格者、また受験資格者を擁し、出資者である者) の意見表明については、理事会に逐次報告することを前提に、当面会長・庶務理事・JSMP 出身の JBMP 理事の協議に一任するという提案が会長よりあり、これを承認した。

4. 第 103 回大会開催報告

資料 4 に基づき、第 103 回大会長より報告があった。

本大会では、会期・抄録の内容・他学会参加者への参加証明書発給・アブストラクトの Web 閲覧等の改善をし、参加人数は第 99 回大会 (一昨年) よりも約 100 名多かった。

今次大会の収支は、シンポジウムの講師謝礼が新たに発生したが黒字で締められ、この報告を了承した。

5. 第 104、105 回大会の準備状況について

< 第 104 回大会 >

資料 5-1 により、大会長より準備状況が報告された。演題申込を締め切ったが、申込数 130 題、そのうち口頭発表希望者数が 87 題であった。大会プログラムを検討中とのことであった。また、一般向け公開講座のリーフレット・告知に関する案が示され、これを了承した。公開講座の宣伝に関しては、費用がかからない地域新聞への告知などが提案された。

< 第 105 回大会 >

資料 5-2 により大会長より準備状況が報告された。

第 105 回大会においては、登録時に発言言語を選択できるようにすることが報告された。英語による登録方法については、UMIN のシステムの利用可否等を検討中であることが報告された。

以上報告を了承した。

6. 委員会の構成の承認

資料 6 に基づき、庶務理事より提案された。審議の結果、原案通りとし、これを承認した。

7. 委員会報告

< 計測委員会 >

会長より次期の委員長を見据えて、副委員長選出を検討する依頼が現委員長にあった。

< 教育委員会 >

資料 7-1 により、教育委員長より活動現況、サマーセミナーの準備状況が報告された。

がんプロへの支援・連携として、全国 e ラーニング・クラウドへの参画を検討していることが報告された。これは、がんプロ加盟校の院生が閲覧可能なシステムで、単位認定機能も兼ね備えた

のである。本件につき議論の結果、講演者の了承を取り付けることを前提とし、さらに委員会で議論を深めて理事会に提案すべきこととした。

また、委員会では JBMP の認定教育コースのあり方について、今後も議論して行くことが報告された。これについては、議論の内容ごとに学会の適切なチャネルによって伝達すべきことが指摘された。

なお委員長より「医学物理士のためのガイドライン&例題集」の責任所在について、教育委員会の管轄か否かとの確認あった。会長より、本件はかつての医学物理士対策委員会の事業であり、今後の刊行については医学物理士会へ移行が然るべきものであることが示された。但し、権利の移行については、試験主体の JBMP の意向と権利・義務関係に最大限の顧慮を払うべきことが指摘された。さらに現行の「例題集」は頒布完了の時期にさしかかっていることが指摘された。

<広報委員会>

資料 7-2 により、広報委員長より活動現況が報告された。同委員会において現在検討中のホームページのリニューアルについて、委員会の審議過程を報告し、現段階でのホームページ構成案が示された。なお今後は、委員会でさらに検討を加え、次回の理事会までに提案する予定であることの報告があった。

ホームページに関して、英語版もあった方が良い(継続的な更新ができるような検討を加えた上で)との意見があった。

<QA/QC 委員会>

資料 7-3 により、QA/QC 委員長より活動現況が報告されるとともに、委員会で検討を加えた呼吸性移動対策ガイドライン(他学会と連名)を学会ホームページで公開することが提案された。本提案につき審議の結果、本ガイドラインを公開することを認可し、他学会と足並みを揃えて公開することとした。

<国際交流委員会>

資料 7-4 により、国際交流委員長より活動現況、WC2012 における AFOMP・IOMP の動きが報告された。

第7回日韓大会については、韓国側と協議の結果、AOCMP と共同とはしないこと、そして、今回は中国を加盟させず日韓のみで行なうことで了解した。

<防護委員会>

資料 7-5 により、防護委員長より 2011 年度活動報告があり、これを了承した。

また粒子線治療施設における放射化物の取扱いのガイドラインにつき、JSMP 単独名義での公表の可否につき審議を求められた。本件については、たたき台をメーリング・リストで審議し、かつ、他学会との共同の途を探るべきこととした。

<編集委員会>

担当理事より、理事会前日の RPT 誌編集委員会における情報として、JSRT との共同論文誌である RPT に Impact Factor が付く可能性があることが報告された。また本学会誌「医学物理」に

については、MEDLINE での表示に難があることが確認されたため、編集委員会で調査中であることが委員長よりコメントされた。

8. 医学物理士認定機構報告(項番繰り上げて審議)

9. WC2012 研究成果報告奨励金選考結果について

資料 9 に基づき、国際交流委員長より報告がなされた。

このたびの奨励金募集には 13 件の応募があり、国際交流委員会でブラインド審査の結果、6 名が選定されたとの報告があった。

10. 研究課題援助の決定について

資料 10 に基づき、庶務理事より諮られた。

審議の結果、理事会前に応募課題に参画していない理事による採点結果で最高得点の 1 件については採択と決定し、同点 2 位の 2 件については挙手により決定された。

これにより採択が確定した 2 件には採択の通知を、不採択の 14 件には不採択通知を、それぞれ事務局より発行することとした。

なお研究課題援助については、一時的にワーキンググループを設置して、下審査した上で理事会に諮るべき課題があることを確認し、引き続き庶務理事において審査のあり方を検討することとした。

また、満了課題の報告書 1 件が資料として提出された。

11. その他

会長よりその他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、会長は 16:45 に閉会を宣言して散会した。

議長 会長 _____ (印)

署名人 副会長 _____ (印)

署名人 監事 _____ (印)

署名人 監事 _____ (印)

原本には記名・押印あり